

● 子じかのマルコはいつもビクビク
● していた。
● なぜなら彼には他の動物には聞
● こえないような小さな声まで聞こ
● てしまうほど、いい耳を持ってい
● たからである。
● いつもビクビクしているマルコを
● 他の動物は「おくびょうもの！」
● とバカにしていた。
● ある日、マルコはいつも以上にビ
● クビクしていた。
● 「どうした、マルコ？」
● 心配になった大人のしかが彼にと
● いかけた。
● 「オオカミが・・・来る」
● そう、マルコは聞いてしまった。
● オオカミたちがこれからここに来
● て、みんなを食べてしまおうとし
● ている会話を。
● 「本当か？それは大変だ！」
● あわてたみんなは森からにげだし
● マルコのおかげで助かったとさ